

校長経営戦略予算（次長枠）

- ・学習意欲の向上事業

自己肯定感および基礎学力の向上をめざし、小学校では英検ジュニアや英検E S G、中学校では漢字検定や文章検定を実施する

- ・スクールボランティア支援事業

学校における教育活動の支援にあたるボランティアに対し、1日2,700円の報償金と交通費を支給する

- ・に～よん個別復習塾（民間事業者を活用した基礎学力支援事業）

小学校5・6年生と中学生を対象に、区民会館、区民ホール、オンラインで少人数形式の塾を実施

ブロック予算

◆ブロック全体に対する支援 校種ごとに次の取組を基本に希望実施

【小学校】(1)(2)のどちらかあるいは両方を選択、(3)は希望校に実施

(1)漢字検定 (2)新聞の購読 (3)学校適応感尺度（アセス）アンケート、hyper-QU（2学年×2回）

【中学校】(1)はどちらかを選択、(2)は希望校に実施

(1)漢字検定、英語検定 (2)学校適応感尺度（アセス）アンケート、hyper-QU（3学年×2回）、リーディングスキルテスト、新聞

【学びサポーター】

学校規模に応じて予算配布し、1校当たりの上限額を決め個別の事情を考慮し特別加配を行う

その他 こどもサポートネット など

外国につながるこどもの教育～第1共生支援拠点 らんまんの活用状況より @西淀川区～

	R4	R5	R6
初期対応（入国・入学時の指導部面談対応）	28	33	32
<p>プレクラス</p> <p>大阪市に編入学・転入学する子どものうち、日本の学校文化に馴染みがなく、日本語によるコミュニケーションができない子どもへの初期集中支援を行い、特別の教育課程にもとづいて、一定期間、共生支援拠点に設置されたプレクラスにおいて、学校生活で使う簡単な日本語や学校文化等を学ぶ。</p>	14	15	24
<p>JSL</p> <p>外国から編入学・転入学した子どもが一定期間の初期日本語指導を終え、教室での一斉授業を受けているが、学習言語が理解できないため、学力の向上につながりにくかったり、進学する高校の選択が制限されたりする現状を改善するため、教科指導における支援を行い、日本語力の向上を図るとともに、学力の向上をめざす。</p>	12	8	14

※数値は西淀川区の件数

※JSLについては、令和5年度より各小中学校につき1回の制限が設けられた

らんまんの現状、傾向など

- ・ 中国語を母語とする児童が多い（第1ブロックは他ブロックと比較すると他言語も多い）
- ・ 中学3年生の学齢が増えてきている
- ・ 他拠点からの受け入れを行っている（第3ブロックの急増の影響）
- ・ モスクがあるのでイスラム文化圏の子どもたちが増えてきている
- ・ 近年の傾向として、ネパール籍の子たちが増えてきている

外国につながるこどもの教育～区役所の取組～

にしよど☆グッドスタート

外国につながる就学前児童が、教育を受ける機会を逃すことなく小学校に入学し、学校において適切な教育的支援が受けられることを目的とし、区役所が区内保育園等から情報を収集し、小学校につなぐ

にしよどグッドスタート for ハイスクール

外国につながるのがある子どもの希望する進路の実現につなげるため、中等教育を終えた後に高校等への入学をめざす、生徒への学習支援を区役所で週に1回行う

たぶんか高校進学セミナー

外国につながる子どもの高校進学支援を目的として、外国につながる子どもと家族に高校進学についての情報を提供し、子どもの際に当事者だった先輩とともに話し、将来のキャリアや夢につなげていく